宇都宮市立陽東小学校 学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
・国語科における「書く」活動を含む言語活動の実践	・自分の考えをノートやワークシートに書く活動を日常的に取り入れ、お互いの意見交換に生かすことができよう、授業を工夫している。	・自分の意見を書く問題の正答率は、市の平均正答率を上回っていたが、文字数や段落構成などの条件に合わせて書く問題に、やや課題が見られた。
・家庭学習の習慣化に向けた取組	・3～6年生では宿題のほかに自主学习ノートを利用した学習に取り組ませ、定期的に提出するよう指導している。	・「自分で計画を立てて、家庭学習に取り組んでいる」に肯定的に回答した児童の割合は市の平均を上回り、4.6年生では10ポイント以上、5年生でも6ポイント高かった。

★国・県・市の結果を踏まえての次年度の方向性

・全教科において、ほぼすべての領域および観点で市の平均や参考値を上回っている。今後も基礎・基本を大切にしながら、発展的な課題にも取り組んでいきたい。

・どの教科・領域においても、学力の2極化が伺える。一人一人にきめ細やかに個別指導を行うことが必要である。

・今年度からGIGAスクール構想が導入され、一人一台の端末による学習活動が始まった。端末を日常的に利用することを目標にし、教科の学びを深め、学びの本質に迫れるような活用法について、研修や実践を通じて研究してきた結果、子供たちが積極的に端末を活用して主体的に学んでいく姿が見られたので、次年度も更に児童の学びを深めるためのツールとして、端末を活用していきたい。